

（6） ebMS処理方式の廃止 netNACCS処理方式の接続仕様公開 <2>



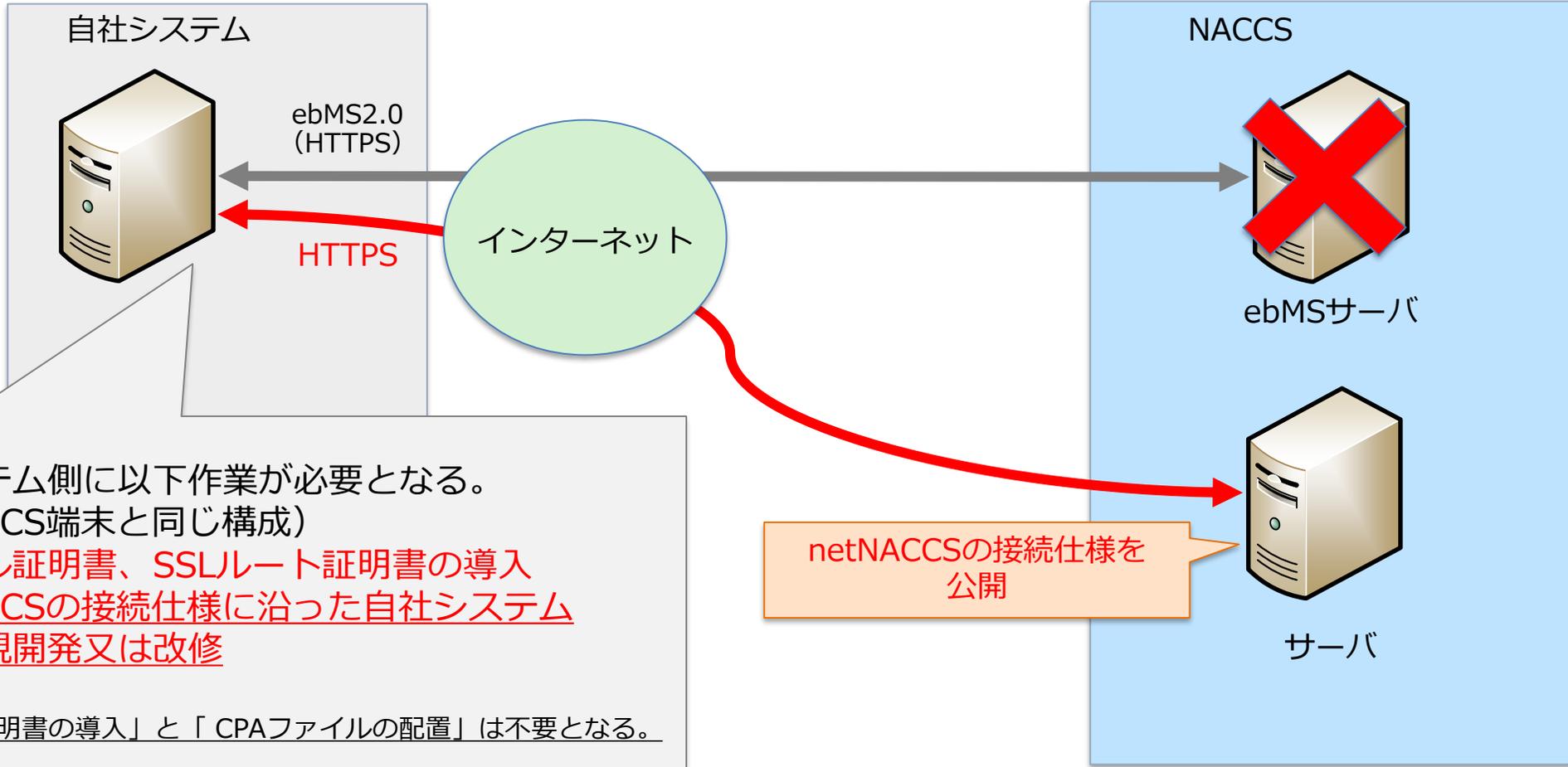
2022年9月15日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

ebMS処理方式を廃止し、netNACCSの接続仕様を公開することで、ebMS処理方式に代わる自社システム向けの接続方式（インターネット経由）を実現する。

区分	概要	第8回WGより再提示
1. 個別検討事項	<ul style="list-style-type: none"> • ebMS処理方式を廃止する。 • 自社システム向けnetNACCS接続仕様（API）を公開する。 	
2. 現行仕様	<ul style="list-style-type: none"> • 第6次NACCSでは、インターネット経由で自社システムを接続する場合、ebMS処理方式のみとなっている。 	
3. 見直しの経緯（利用者の要望等）	<ul style="list-style-type: none"> • ebMS処理方式では、証明書の更新作業が毎年発生するため、利用者とNACCSセンター間で調整及び作業が発生しており、負担となっている。 • インターネットを経由した自社システムの接続方式は、開発コスト削減等のため、今回検討する新たな接続方式に集約していくこととし、ebMS処理方式は廃止する。 • デジタルプラットフォームとの連携に関しても、新たな接続方式により実現することが選択肢として考えられる。 	
4. 次期仕様	<ul style="list-style-type: none"> • netNACCSの接続仕様を公開することで、自社システム向け（現ebMS利用者）の接続方式（インターネット経由）を実現する。 	
5. その他	<ul style="list-style-type: none"> • 第1回合同WGにて提示 • 基本仕様書Ⅲ-1「オンライン処理方式」 	

■ インターネット経由した自社システム接続方式イメージ

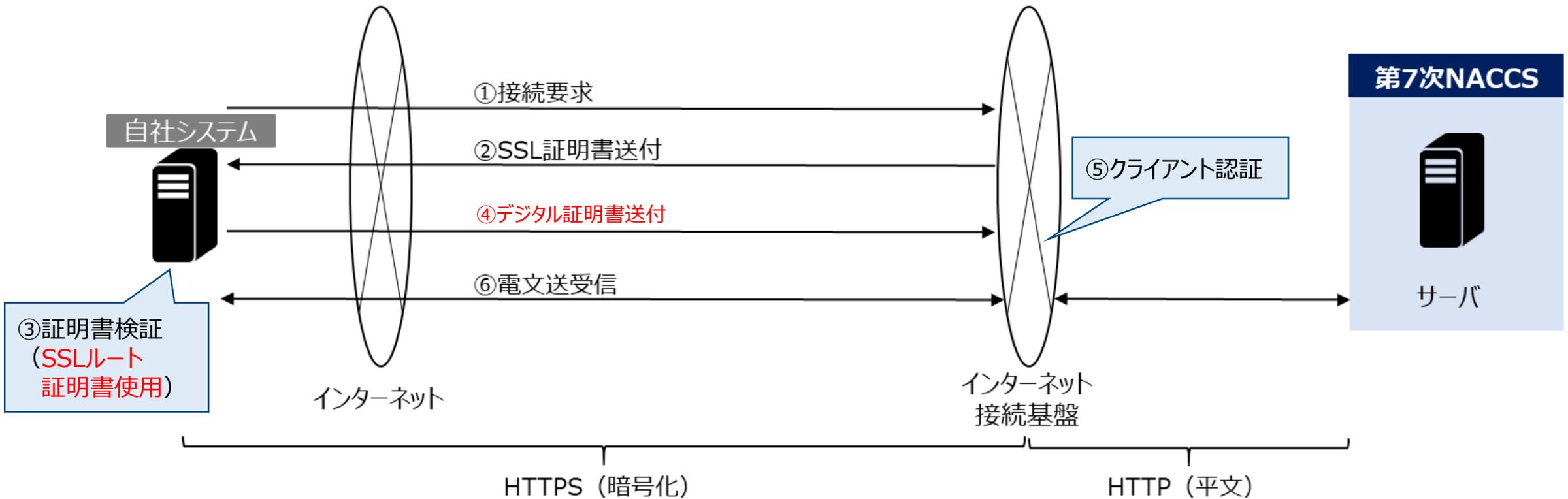


自社システム側に以下作業が必要となる。
 (netNACCS端末と同じ構成)

- ・ **デジタル証明書、SSLルート証明書の導入**
- ・ **netNACCSの接続仕様に沿った自社システム側の新規開発又は改修**

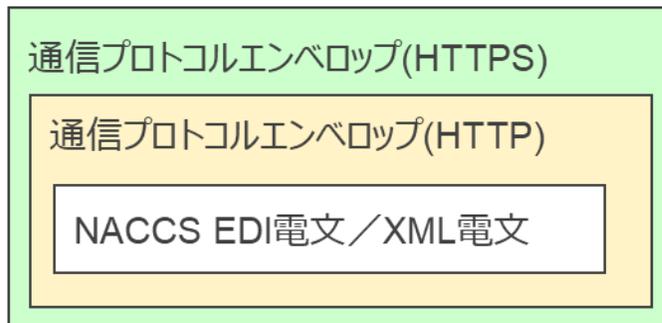
※「サーバ証明書の導入」と「CPAファイルの配置」は不要となる。

- SSL証明書及びデジタル証明書を用いた、暗号化通信及びクライアント認証となります。実現イメージは以下の通りとなります。



※現行netNACCS接続と同じ接続方式を採用する予定です。

■ netNACCS処理方式 (NACCS EDI / XML) のメッセージフォーマット



■ netNACCS処理方式の電文フォーマット (XML)



■ netNACCS処理方式の電文フォーマット (NACCS EDI)



※入力 (出力) 共通項目については、ebMS→netAPIへの変更に伴い、一部の設定内容が変更になります。
詳細な設定内容については、EDI仕様書にて提示いたします。

ebMS処理方式に代わる自社システム向けの接続方式（インターネット経由）の呼称を、『netAPI』としました。

今後の情報を提供する中で、処理方式の呼称を『netAPI』と記載して情報を公開してまいります。

No.	項目	第6次NACCS	第7次NACCS	備考
1	接続方式	・ebMS処理方式	・netAPI処理方式	自社システム向けのnetNACCS処理方式
2	接続プロトコル	・ebMS2.0 (HTTPS)	・HTTPS	
3	接続（認証）に必要となる作業	・サーバ証明書の導入 ・デジタル署名用証明書の導入 ・CPAファイルの配置	・デジタル証明書の導入 ・SSLルート証明書の導入	netAPIに沿った自社システム側の新規開発又は改修が必要。
4	証明書等の提供（取得）方法	・メール等による提供	・デジタル証明書発行サイトからダウンロード	
5	更新頻度	1年	検討中	
6	開発機能	—	・以下の機能について必要に応じて自社システム側で開発が必要 電文送受信 帳票取出し（即時型） 帳票取出し（蓄積型） 受信確認 管理資料取出し	処理要求電文の送信は、1件ごとの送信となる。 ebMS処理方式では、帳票電文をNACCSから送信していたが、netAPIでは、利用者様からの取出しを行う必要がある。
7	接続仕様	・EDI仕様書として公開	・EDI仕様書として公開	公開は2023年4月予定
8	TLSサポートバージョン	・TLS1.2	今後決定	

netAPIの機能については、以下の通り、netNACCS処理方式（パッケージソフト）の機能と同様とする予定です。以下の表に記載した機能について、自社システム側で必要となる機能を開発していただくこととなります。

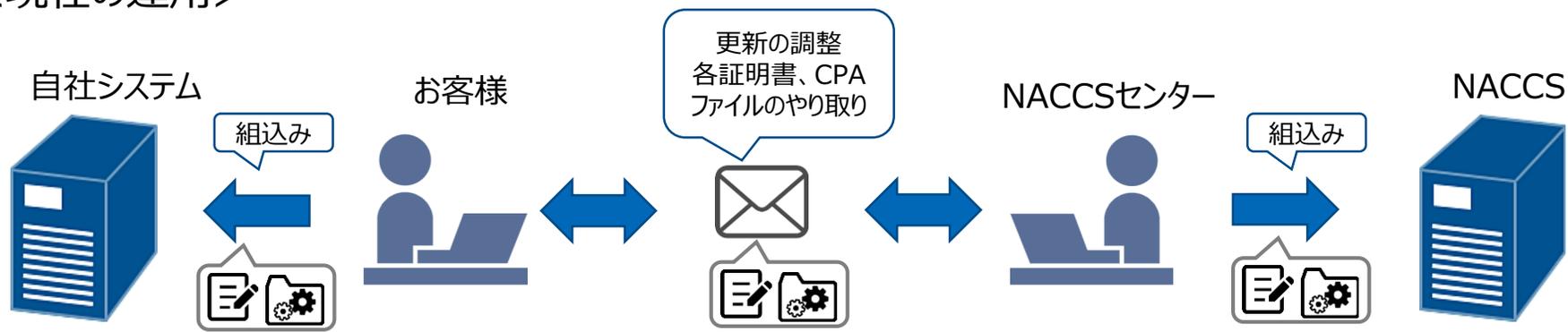
No.	機能	概要
1	電文送受信	センターに処理要求電文を送信し、センターから処理結果電文を受信する。
2	帳票取出し（即時型）	即時型の帳票電文をセンターから取り出す。
3	帳票取出し（蓄積型）	蓄積型電文キュー内の帳票電文を取り出す。
4	受信確認	帳票の受信が完了したことをセンター側に通知し、通知後、次の帳票がセンター内にあれば配信される。
5	管理資料取出し	管理資料情報を取り出す。

【留意点】

- ①処理要求電文の送信は、ebMS処理方式とは異なり、1件ごとの送信となります。
- ②自社システム側から「帳票取り出し」機能を利用して、取り出しを行うこととなります。
- ③「帳票取出し」機能と「受信確認」機能は、併せて自社システム側で開発が必要となります。
- ④XML電文及びNACCS EDI電文に対応します。
 - ※XML対象の業務機能（SIR/EIR、IVA）は、次期システムにおいても引き続き提供する予定です。
 - ※SIR/EIRについては統合予定となっております。

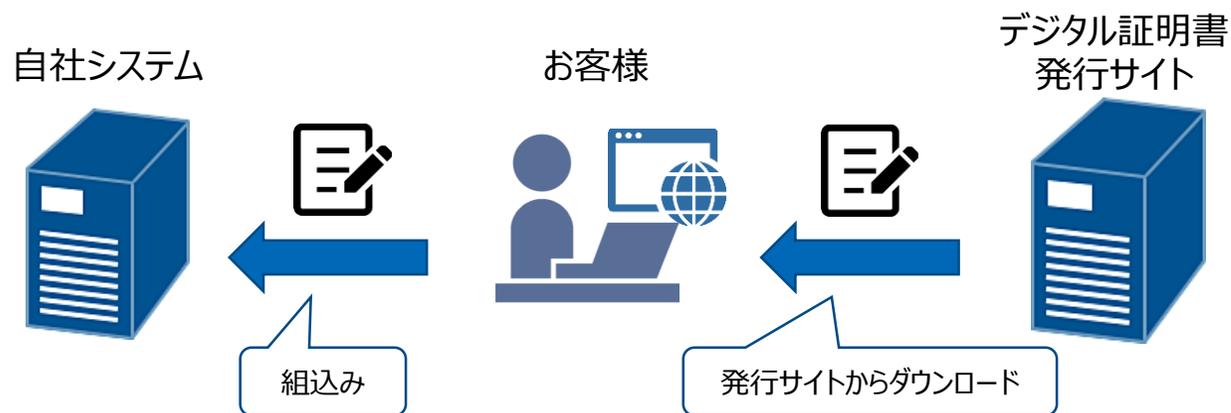
電文送受信等のシーケンスについては別紙をご参照ください。

<現在の運用>



※証明書、CPAファイルの作成に1ヶ月以上要する。
※NACCS定期保守日は2ヶ月に1度となるため、
組み込みのタイミングが限られている。

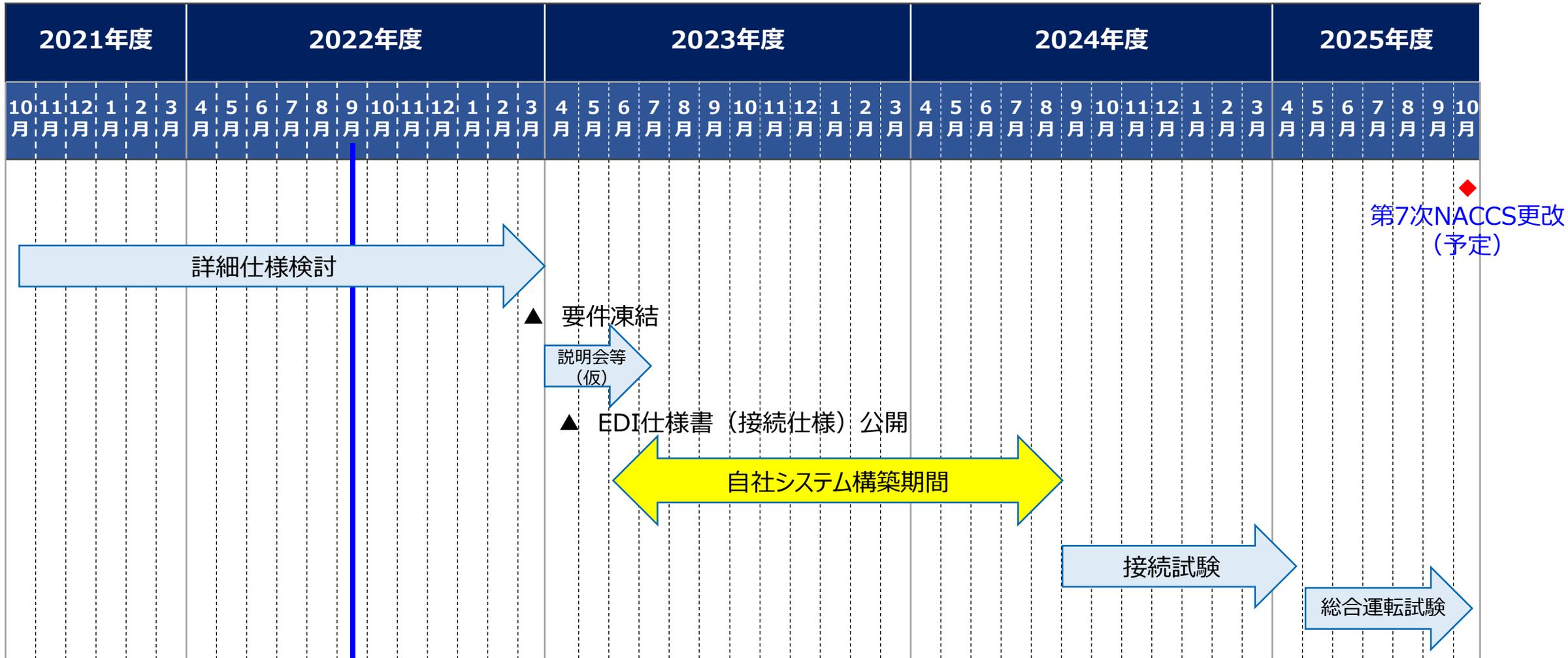
<第7次NACCSでの運用>



※任意のタイミングで組み込み

<改善点>

- ebMS処理方式では、電子署名用証明書、サーバ証明書、CPA設定ファイルの導入が必要でしたが、netAPIでは、デジタル証明書、ルート証明書の導入となります。
- 発行サイトからの直接ダウンロードが可能となり、これまで取得、更新の際に発生していたNACCSセンターとの調整が不要となります。
- 各証明書、CPAファイル作成に1ヶ月以上要しておりましたが、発行サイトからの直接ダウンロードにより、証明書発行の時間が短縮されます。



※netAPIは新規導入の処理方式となるため、接続試験は9月開始予定です。
 既存処理方式の接続試験開始時期については、今後お知らせいたします。

機能の詳細仕様、接続仕様等については、今後、仕様が開示できる段階となりましたら、順次、EDI仕様書等で情報を提示いたします。